

独立行政法人教職員支援機構平成 29 年度業務実績の評価結果を踏まえた業務運営等への主要な反映状況

評価項目	平成 29 年度業務実績評価における主要な指摘等	左の指摘等を踏まえた平成 30 年度業務運営への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	<p>(学校教員関係職員に対する研修)</p> <p>80%以上から「大変有意義であった」の最高評価を得られなかった体力向上マネジメント指導者養成研修と幼児教育指導者養成研修については、その原因を分析し、必要な方策を検討する必要がある。</p>	<p>大変有意義率が低かった原因として、体力向上マネジメント研修については研修カリキュラムをマネジメント中心に再編・実施したところ、目的や到達目標が受講者に十分に理解されなかった。幼児教育指導者養成研修については、60 分のコマの中に講義・演習・協議を入れたところ消化不良になった。</p> <p>これらの課題についてカリキュラム検討会議で話し合い、研修内容の受講者への事前周知や、研修内容の改善を図った。</p>
財務内容の改善に関する事項	<p>(自己収入の確保、固定経費の節減、財務内容等の透明性の確保)</p> <p>自己収入の確保等、引き続き中期計画及び年度計画に基づき、適切な財務運営に努める必要がある。</p>	<p>ホームページに利用者向けの案内を設け外部への利用促進を図るなどにより新たな使用者を獲得、自己収入を確保することができた。</p> <p>また、機構の予算を7つのセグメント・収益化単位に区分し、セグメントごとの予算及び実績の管理を行うことに改めて予算運営を行うこととした。</p>
その他の事項	<p>(長期的視野に立った施設・設備の整備・管理の実施)</p> <p>引き続き運動施設を含めた施設の稼働率の維持・向上に努める必要がある。</p>	<p>施設提供事業として、学校教育関係者、地域の社会教育活動関係者等を対象とした研修等での利用を促進し、稼働率の向上に努めた。</p>

		<p>特に、9月につくば市で開催された国際情報オリンピックに参加する世界各国の高校生等を受け入れ、大会の運営に協力した。</p> <p>研修施設の利用においては、2月から3月の約1ヵ月半に渡り、ハローワークが主催する高齢者スキルアップ講習会のために研修室を提供した。また、英語検定の試験会場としても使用するなど、冬季の主催研修が無い時期の利用促進を行った。</p> <p>体育施設（体育館）は、地元プロバスケットボールチームが茨城県の小中高校生を対象としたバスケットボール教室の開催のために定期的に利用するなど新規の利用促進に努めた。</p>
--	--	---